

晴れのインカレリレー！  
競技する学生のモチベーションも高いが、支えるOBのモチベーションも高い。日本のオリエンテーリングのエンジンとなる大会だ。

2014年3月9日(日) 栃木県矢板市  
日本学生選手権リレー競技

## 女子

- |   |          |         |
|---|----------|---------|
| 1 | お茶の水女子大学 | 2:07:27 |
| 2 | 横浜国立大学   | 2:15:00 |
| 3 | 椛山女学園大学  | 2:18:37 |
| 4 | 金沢大学     | 2:26:12 |
| 5 | 新潟大学     | 2:41:21 |
| 6 | 東北大学     | 2:49:24 |

## 男子

- |   |        |         |
|---|--------|---------|
| 1 | 東京大学   | 2:27:28 |
| 2 | 名古屋大学  | 2:29:11 |
| 3 | 早稲田大学  | 2:34:10 |
| 4 | 京都大学   | 2:35:12 |
| 5 | 一橋大学   | 2:47:07 |
| 6 | 東京工業大学 | 2:51:37 |



お茶の水女子大学 2走・小山(2年)から3走・稲毛(3年)へ。  
このとき、トップと5分差の3位。  
ここから稲毛の怒涛の追い上げで優勝を手に入れた。



チェンジオーバーを待つ稲毛日菜子(お茶の水女子大学3走)。チェンジオーバーに向かう2走・小山に向けてアピール。

## 25年ぶり！お茶の水大学

リレー競技序盤からレース上位に付けていたお茶の水女子大学が、3走の稲毛日菜子の快走で一気にトップに立ち、2位に大差をつけて優勝を飾った。前日のミドル大会では悔しい思いをただけに、今日は結果を出したかったところだ。

前回お茶の水大学が優勝したのは、1989年3月に奈良県で行われたインカレ。今の学生はまだ生まれていない。

## 東京大学・優勝奪還

3年続いた東京大学の男子優勝が途絶えたのは昨年のこと。あれから1年、東京大学は優勝旗の奪還に成功した。

今回は名古屋大学が猛追する中を逃げ切った。強豪校が競い合う中で3人タイムを揃えて栄光のウイニングランを飾った。

前回優勝の東北大学は序盤から躓き、ケガにも悩まされ入賞圏外へと落ちて行った。前日に行われたミドル競技の杉村の優勝と対照的な結果となった。

## 女子27チーム/男子24チーム

今回のインカレは女子が活躍した。団体戦に参加する学校代表チーム数で、女子が男子を上回ったのだ。1走スタート風景で、その違いを実感できた。

インカレ実行委員長も女性の寺岡。オリエンテーリング界のドライビングフォースとして女性の力は確実に増し

ている。オリエンテーリングは老若男女を問わない生涯スポーツの特徴を持っていたのだが、その特徴を活かし、学生スポーツであるインカレでも、エリートシーンにおいても女性が活躍してもらいたい。

1ヶ月前にロシアのソチで行われた冬季オリンピックに参加した日本選手の中で、女子選手の数が男子選手を上回っていたことを思い出した。



男子のウイニングランを飾る東京大学。  
2年ぶりにインカレリレー優勝を奪還した。  
(木村佳司)